

研究ノート

## オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて（その3） ～講師派遣の実績を手掛かりとして～

乳 井 勇 二（総合スポーツ科学研究センター）  
秋 和 真 澄（総合スポーツ科学研究センター）  
富 田 幸 祐（オリンピックスポーツ文化研究所）  
関 根 正 美（体育学部／体育スポーツ科学系）

### I. はじめに

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会（以下東京2020大会）が1年の延期となった中、オリンピック・パラリンピックレガシーの一つであるオリンピック・パラリンピック教育（オリ・パラ教育）の推進が東京都を中心にさまざまなプログラムによって行われている（東京都教育委員会、東京2020教育プログラム、パナソニック株式会社）<sup>1)</sup>。2019年度より実施されている学習指導要領においてもオリ・パラ教育の充実が求められており<sup>2)</sup>、学校での定着が望まれている。日本におけるオリ・パラ教育は、オリンピック・パラリンピックを題材にして、①スポーツの意義や価値等に対する国民の理解・関心の向上、②障害者を含めた多くの国民の幼少期から高齢期までの生涯を通じたスポーツへの主体的な参画（「見る」、「支える」、「調べる」、「創る」）の定着・拡大、③児童・生徒をはじめとした若者に対する、これからの社会に求められる資質・能力等の育成、を推進することを目的としている<sup>2)</sup>。スポーツ庁では2016年から「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」<sup>3)</sup>（以下オリ・パラ事業）を実施している。オリ・パラ事業はスポーツ庁に加え、内閣官房、2020東京オリンピック・パラリンピック組織委員会、日本オリンピック委員会（以下JOC）、日本パラリンピック委員会（以

下JPC）、日本財団パラリンピックサポートセンター、そして中核拠点大学として筑波大学、早稲田大学、日本体育大学によって推進されている。中核拠点大学はオリンピック・パラリンピック教育推進地域（以下オリ・パラ教育推進地域）と連携し、オリンピック・パラリンピック教育推進校（以下オリ・パラ教育推進校）の支援を行っている。これに伴い、日本体育大学（NSSU：Nippon Sport Science University）ではオリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業【NSSU-Center for Olympic and Paralympic Empowerment（以下N-COPE）】を2016年に設立した。N-COPEは2016年に3拠点（石川県、高知県、長崎県）の支援から始まり、2019年度には15拠点（北海道、栃木県、千葉県、山梨県、新潟県、石川県、兵庫県、岡山県、高知県、大分県、千葉市、新潟市、大阪市、神戸市、岡山市）を担当し、推進地域全体への支援を行っている。具体的な支援内容として、地域拠点担当者となるコーディネーター（教育委員会指導主事等）への支援、地域セミナーおよびワークショップの際に推進校教員へのオリ・パラ教育のレクチャー、推進校の授業実践への支援などがある。中核拠点大学によるオリ・パラ事業の支援については、年度ごとに事例が報告されている<sup>3)</sup>。友添他（2020）は2018年度のスポーツ庁が推進するオリ・パラ教育事業における早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの担当するオリ・パ

ラ教育実践の実態について、実践形式の観点から、小学校、中学校における様々な教科と関連付けた「通じた学び」の実践の割合の増加、高等学校、特別支援学校における「体育・保健体育」と関連付けた「通じた学び」の実践の割合の増加、そして中学校、高等学校では「特別活動」と関連付けた実践の割合が多かったことを報告している。また、乳井他（2019）、乳井他（2020）はオリ・パラ教育実践の特徴把握に向けて、2017年度、2018年度のN-COPE支援地域における講師派遣の内容分析を行った。その結果、パラリンピアンやパラスポーツ選手の派遣が増えていることや、オリンピックやパラリンピアンだけでなく、競技の普及や広報活動を目的とした競技に関わる人々（競技団体スタッフなど）、障害者や異文化への理解を深めていくことを目的とした地域における福祉施設や自治体職員、地域在住の外国人講師など、ゲストティーチャーの業種が増え、さまざまな人材が活用され、テーマに応じたオリ・パラ教育が展開されてくるようになってきたことを報告している。実践事例や活動における特色についての報告が増えてきた中、岡田他（2020）は教員の視点からオリ・パラ教育の効果や課題を実践内容と関連付けて分析し、オリ・パラ教育の促進方法として、教員の協力体制の構築、オリンピック・パラリンピアンを題材とした「道徳」の授業モデルの作成、映像資料の活用、体育科・保健体育科におけるオリンピック・パラリンピアン「実技指導」を活かした授業モデルの開発、様々な教育活動と関連付けた実践モデルの開発、「教員の意識・理解の向上」を意図した教員研修の充実、「施設・用具の確保」を意図した各地域における障がい者スポーツ協会との連携、学校施設のバリアフリー化、パラリンピアン「講演」や「実技指導」の内容に関する理解を深めるための事後指導の充実

を提案している。さらに岡田（2020）はオリ・パラ教育に携わる教員以外の視点、例えば、各学校への指導的な立場にある教育委員会、様々なプログラムを提供する企業やスポーツ関連組織、さらには学校に講師として派遣されるアスリートなどの視点からもオリ・パラ教育の成果や課題を検討する必要があることを指摘している。このことから、2016年から継続的に実施されているオリ・パラ教育における派遣講師の各年の特徴を把握していくことは有益な情報となりえると考えられる。

本稿は、乳井他（2019）、乳井他（2020）と同様の方法で2019年度にN-COPEに報告された取り組みを類別し、その特徴を把握することを目的とする。

なお、本稿における「障害」の表記については、学習指導要領等の公的文書で用いられる「障害」については「障害」を用いることとし、それ以外については、信太他（2018）が障がい者スポーツへの関わりを高める方策を実施する際には、「障害者」よりも「障がい者」の表記が適切であると指摘していることから「障がい」と表記した。

## II. オリ・パラ教育実施校の取組内容

まず、オリ・パラ教育を行ったすべての学校における、講師の派遣状況を示す（表1）。

さらに講師派遣のオリンピック、パラリンピアン、アスリート、パラアスリート、ゲストティーチャーに分類した（表2）。

表1 講師派遣状況

あり	なし	実施校およびイベント合計
200 (87%)	30 (13%)	230

表2 講師派遣内訳

オリンピック	パラリンピアン	アスリート	パラアスリート	ゲストティーチャー	合計
56 (12%)	82 (18%)	32 (7%)	82 (18%)	207 (45%)	459

※オリ・パラ教育を実施している学校の中で複数の講師を派遣している学校があるため実施校と講師派遣の合計数が異なっている。

表1からわかる通り、オリ・パラ教育を実施している学校および地域拠点主催イベント（合計230回）のうち87%（200回）で講師を派遣して実践していることが明らかとなった。2017年度（81%）、2018年度（86%）と同様に高い割合で講師を派遣しながらオリ・パラ教育を実践していることを示している。

表2の内訳をみると、オリンピックが12%、パラリンピアンが18%、アスリートが7%、パラアスリートが18%、ゲストティーチャーが45%であった。健常者アスリートであるオリンピックとアスリートを合計すると19%、障がい者アスリートであるパラリンピアンとパラアスリートを合計すると36%となり、障がい者アスリートが大幅に上回る結果となった。

また、派遣された講師をオリンピック、パラリンピアン、アスリート、パラアスリート、ゲストティーチャーに分類し、それぞれの取組内容を示した（表3～表7）。さらにゲストティーチャーについては業種別の内訳を示した（表8）。

表3のオリンピック派遣内訳をみると、1984年夏季ロサンゼルス大会に出場した増田明美氏（陸上競技）、奥野景介氏（競泳）から2016年夏季リオデジャネイロ大会に出場し、2020年東京大会を目指している、上田藍氏（トライアスロン）、川井梨紗子氏（レスリング）、中山陽介氏（ウエイトリフティング）、中村千春氏（ラグビー）の4名の選手まで幅広い年代でのオリンピックが派遣されている。また、石川多映子氏が6回、小林祐梨子氏が3回、中村友梨香氏が2回、脇田寿雄氏が2回と複数回派遣されている。そして、ホストタウン交流事業や2020東京大会の事前合宿を兼ね、ルーマニア代表のクラウディア・ボボーチャ氏（陸上競技）、アゼルバイジャン代表レスリングチームの選手団、ニュージーランド代表ホッケー選手団、チェコ代表カヌー選手団など、外国人選手が派遣された。本来なら東京2020大会開催前年であった2019年度<sup>3)</sup> ならではの取組といえる。延べ56回のうち47名のオリンピックが派

遣され、冬季大会に出場したのは5名であった。N-COPEが担当した地域別にみると、千葉県が9回、石川県が8回、栃木県・兵庫県・神戸市が7回、北海道・山梨県・岡山県・高知県が3回、大阪市・岡山市が2回、新潟県・大分県が1回の派遣をしており、千葉市・新潟市はオリンピックの派遣がなかった。

表4のパラリンピアン派遣内訳をみると、1984年ストックマンデビル大会に出場した森田俊子氏（車いすバスケットボール）から2016年リオデジャネイロ大会、2018年平昌大会に出場し、東京大会、2022年北京大会の出場を目指している現役選手など幅広い年代でのパラリンピアンが派遣されている。また、金田典子氏（シッティングバレーボール）が12回、鈴木徹氏（陸上競技）が10回、増渕倫巳氏（車いすバスケットボール）が8回、平澤奈古氏（アーチェリー）・高田千明氏（陸上競技）・岡紀彦氏（パラ卓球）・秦由加子氏（トライアスロン）・木谷隆行氏（ボッチャ）が3回、永瀬充氏（アイスホッケー）・官野一彦氏（車いすラグビー）・加藤昌彦氏（シッティングバレーボール）・伊藤真波氏（水泳）・永易雄氏（車いすラグビー）・岩渕幸洋氏（卓球）が2回となり、37名中15名が複数回派遣されていた。また、表3のオリンピックと同様にホストタウン交流事業や2020東京大会の事前合宿を兼ね、ベトナム代表ウエイトリフティング選手団が派遣されていた。延べ82回のうち38名のパラリンピアンが派遣され、冬季大会に出場したのは7名であった。地域別にみると、栃木県が32回、千葉県が13回、兵庫県が8回、山梨県が7回、北海道・岡山県が6回、大分県が4回、高知県が2回、新潟県・石川県・大阪市・岡山市が1回の派遣をしており、千葉市・新潟市・神戸市はパラリンピアン派遣がなかった。

表5のアスリート派遣内訳をみると、サッカー選手が8回、陸上・サーフィン選手が4回、体操・新体操・フェンシング・バスケットボール選手・トライアスロンが2回、アイスホッケー・ラクロ

表3 派遣講師オリンピアン

地域	学校・イベント名	氏名	競技	オリンピック出場年
北海道	網走市立東小学校	久保倉里美	陸上競技	2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	士別市立士別中学校	逸見佳代	スキー	2002年ソルトレイクシティ, 2006年トリノ
	北海道恵庭南高等学校	長岡弥生	スピードスケート	2002年ソルトレイクシティ
栃木県	栃木市立静和小学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	栃木市立赤麻小学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	栃木市立大平西小学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	栃木市立栃木第三小学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	栃木市立栃木第四小学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
	佐野市立西中学校	蔵田和彦	ボート	1996年アトランタ
	栃木市立栃木西中学校	石川多映子	ソフトボール	2000年シドニー
千葉県	習志野市立秋津小学校	大森盛一	陸上競技	1992年バルセロナ
	船橋市立宮本小学校	太田雄貴	フェンシング	2004年アテネ, 2008年北京, 2012年ロンドン
	一宮町立一宮小学校	増田明美	陸上競技	1984年ロサンゼルス
	市原市立湊津小学校	猫ひろし	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	松戸市立第五中学校	クラウディア・ボボーチャ	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	旭市立第二中学校	斎藤良宏	体操競技	2000年シドニー
	館山市立第二中学校	細田雄一	トライアスロン	2012年ロンドン
	県立千葉女子高等学校	上田藍	トライアスロン	2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	県立東金特別支援学校	永田克彦	レスリング	2000年シドニー, 2004年アテネ
新潟県	十日町市立鑑島小学校	恩田祐一	スキークロスカントリー	2006年トリノ, 2010年バンクーバー, 2014年ソチ
石川県	志賀町立志賀小学校	アゼルバイジャンチーム	レスリング	
		川井梨紗子	レスリング	2016年リオデジャネイロ
	小松市立安宅中学校	豊田陽平	サッカー	2008年北京
	内灘町立内灘中学校	金丸雄介	柔道	2008年北京
	県立鶴来高等学校	石川晴菜	アルペンスキー	2018年平昌
	スポーツ選手ふれあい事業	垣岩令佳	バドミントン	2012年ロンドン
		永里優季	サッカー	2008年北京, 2012年ロンドン
		狩野舞子	バレーボール	2012年ロンドン
山梨県	早川町立早川北小学校	佐野夢加	陸上競技	2012年ロンドン
	南アルプス市立甲西中学校	小林雅英	野球	2004年アテネ
	県立白根高等学校	中山陽介	ウエイトリフティング	2016年リオデジャネイロ
大阪市	大阪市立桃谷中学校	岩城ハルミ	バドミントン	1992年バルセロナ
	大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校	翼樹里	シンクロナイズドスイミング	2000年シドニー, 2004年アテネ
兵庫県	三木市立みなぎ台小学校	小林祐梨子	陸上競技	2008年北京
	西宮市立西宮浜小学校	中村友梨香	陸上競技	2008年北京
	丹波篠山市立岡野小学校	江里口匡史	陸上競技	2012年ロンドン
	南あわじ市立北阿万小学校	小林祐梨子	陸上競技	2008年北京
	西宮市立西宮浜中学校	中村友梨香	陸上競技	2008年北京
	県立三田西陵高等学校	小林祐梨子	陸上競技	2008年北京
	県立神戸北高等学校	栗原恵	バレーボール	2004年アテネ, 2008年北京, 2012年ロンドン
神戸市	神戸市立玉津中学校	鹿島瞳	競泳	1996年アトランタ
		田端健児	陸上競技	1996年アトランタ, 2000年シドニー
		池松和彦	レスリング	2004年アテネ
	神戸市立御影中学校	木田知宏	射撃	1996年アトランタ
		山本静香	バドミントン	2004年アテネ
		脇田寿雄	ボブスレー	1988年カルガリー, 1992年アルベールビル, 1994年リレハンメル, 1998年長野
岡山県	倉敷市立味野小学校	奥野景介	競泳	1984年ロサンゼルス
	赤磐市立磐梨中学校	女子ニュージーランドチーム	ホッケー	
	県立倉敷琴浦高等支援学校	荒木絵里香	バレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
岡山市	岡山市立福浜小学校	重友梨佐	陸上競技	2012年ロンドン
	岡山市立吉備中学校	山口衛里	陸上競技	2000年シドニー
	宿毛市立橋上小学校	塚原直貴	陸上競技	2008年北京
高知県	宿毛市立片島中学校	小原日登美	レスリング	2012年ロンドン
	須崎市立朝ヶ丘中学校	チェコチーム	カヌー	
大分県	日田市立南部中学校	中村千春	ラグビー	2016年リオデジャネイロ

ス・チアリーディング・ラグビー・ホッケー・テコンドー選手が1回派遣されていた。地元のプロ

スポーツチーム所属や海外からの合宿なども含めた外国人選手が11回と全体の3割以上であった。



表4 派遣講師パラリンピアン

地域	学校・イベント名	氏名	競技	パラリンピック出場年
北海道	釧路市立朝陽小学校	ベトナムチーム	パワーリフティング	2016年リオ
	八雲町立落部小学校	高田朋枝	ゴールボール	2008年北京
	幕別町立幕別小学校	池崎大輔	車いすラグビー	2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	名寄市立名寄小学校	永瀬充	アイスホッケー	2010年バンクーバー
	利尻富士町立鷺泊中学校	永瀬充	アイスホッケー	2010年バンクーバー
	北海道中標津高等学校	狩野亮	アルペンスキー	2006年トリノ, 2010年バンクーバー, 2014年ソチ, 2018年平昌
栃木県	益子町立益子小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	益子町立益子西小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	益子町立七井小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	益子町立田野小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	佐野市立葛生南小学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	佐野市立吾妻小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	佐野市立吾妻小学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	栃木市立冨家小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル, 1992年バルセロナ, 1996年アトランタ, 2000年シドニー, 2004年アテネ, 2008年北京, 2016年リオデジャネイロ
	栃木市立皆川城東小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	栃木市立合戦場小学校	永尾嘉章	陸上競技	1988年ソウル, 1992年バルセロナ, 1996年アトランタ, 2000年シドニー, 2004年アテネ, 2008年北京, 2016年リオデジャネイロ
	栃木市立寺尾小学校	岩渕幸洋	卓球	2016年リオデジャネイロ
	栃木市立小野寺南小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	栃木市立大宮南小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	栃木市立南小学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	那須塩原市立稲村小学校	平澤奈古	アーチェリー	2004年アテネ, 2016年リオデジャネイロ
	那須塩原市立関谷小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	那須塩原市立埼玉小学校	平澤奈古	アーチェリー	2004年アテネ, 2016年リオデジャネイロ
	那須塩原市立三島小学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	那須塩原市立三島小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	那須塩原市立西小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	那須塩原市立東原小学校	眞田卓	車いすテニス	2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	那須塩原市立東原小学校	平澤奈古	アーチェリー	2004年アテネ, 2016年リオデジャネイロ
	那須塩原市豊浦小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	佐野市立常盤中学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	佐野市立西中学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	増淵：2012年ロンドン
	栃木市立大平南中学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	栃木市立都賀中学校	岩渕幸洋	卓球	2016年リオデジャネイロ
	栃木市立東陽中学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	那須塩原市厚崎中学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
	那須塩原市立東那須野中学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	那須塩原市立幕根中学校	金田典子	シッティングバレーボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	県立高根沢高等学校	増淵倫巳	車いすバスケットボール	2012年ロンドン
千葉県	習志野市立秋津小学校	高田千明	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	習志野市立香澄学校	高田千明	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	市川市立真間小学校	秦由加子	トライアスロン	2016年リオデジャネイロ
	一宮町立東浪見小学校	佐藤詠	シッティングバレーボール	2000年シドニー
	一宮町立東浪見小学校	加藤昌彦	シッティングバレーボール	2000年シドニー, 2005年アテネ
	館山市立豊房小学校	加藤昌彦	シッティングバレーボール	2000年シドニー, 2004年アテネ
	木更津市立清見台小学校	安岡チヨーク	陸上競技	2004年アテネ, 2008年北京
	習志野市立第七中学校	高田千明	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
	船橋市立法田中学校	加藤正	アイスバスケ・アイスホッケー	1988年ソウル, 1994年リレハンメル, 1998年長野, 2002年ソルトレイク, 2006年トリノ
	いすみ市立大原中学校	官野一彦	車いすラグビー	2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	君津市立周西南中学校	官野一彦	車いすラグビー	2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	秀明大学学校教師学部附属秀明八千代中学・高等学校	秦由加子	トライアスロン	2016年リオデジャネイロ
	県立矢切特別支援学校	齋田悟司	車いすテニス	1996年アトランタ, 2000年シドニー, 2004年アテネ, 2008年北京
	新発田市立佐々木中学校	出来島桃子	クロスカントリースキー・バイアスロン	2006年トリノ
新潟県	新発田市立佐々木中学校	出来島桃子	クロスカントリースキー・バイアスロン	2006年トリノ
石川県	県立津幡高等学校	花岡伸和	陸上競技	2004年アテネ, 2012年ロンドン
	南アルプス市立小笠原小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
山梨県	笛吹市立御坂西小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	市川三郷町立六郷小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	道志村立道志小学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	笛吹市立春日居中学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	道志村立道志中学校	鈴木徹	陸上競技	2000年シドニー, 2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ
	北杜市立甲陵高等学校	古畑篤郎	陸上競技	2012年ロンドン
大阪市	大阪市立此花中学校	永易雄	車いすラグビー	2008年北京
	丹波市立和田小学校	芦田創	陸上競技	2016年リオデジャネイロ
兵庫県	養父市立広谷小学校	永易雄	車いすラグビー	2008年北京
	佐用町立佐用中学校	山本篤	陸上競技, スノーボード	2008年北京, 2012年ロンドン, 2016年リオデジャネイロ, 2018年平昌
	小野市立河合中学校	安達阿記子	ゴールボール	2008年北京, 2012年ロンドン
	西宮市立西宮浜中学校	加藤作子	水泳	2000年シドニー
	豊岡市立城崎中学校	伊藤真波	水泳	2008年北京, 2012年ロンドン
	県立西脇北高等学校	伊藤真波	水泳	2008年北京, 2012年ロンドン
	県立北摂三田高等学校	山田拓朗	水泳	2004年アテネ, 2016年リオデジャネイロ
	玉野市立宇野小学校	堀江航	アイスホッケー	2018年平昌
岡山県	高梁市立宇治小学校	岡紀彦	卓球	2000年シドニー, 2004年アテネ, 2008年北京
	高梁市立成羽小学校	岡紀彦	卓球	2000年シドニー, 2004年アテネ, 2008年北京
	倉敷市立連島北小学校	岡紀彦	卓球	2000年シドニー, 2004年アテネ, 2008年北京
	倉敷市立新田中学校	秦由加子	トライアスロン	2016年リオデジャネイロ
	倉敷市立玉野光南高等学校	新田佳浩	クロスカントリースキー・バイアスロン	2002年ソルトレイクシティ, 2006年トリノ, 2010年バンクーバー, 2014年ソチ, 2018年平昌
岡山市	岡山市立香和中学校	松本義和	柔道	2000年シドニー, 2004年アテネ
高知県	宿毛市立小筑紫小学校	池愛里	水泳	2016年リオデジャネイロ
	ゆめチャレ！ School in KOCHI	森田俊子	車いすバスケットボール	1984年ストックマンデビル, 1988年ソウル, 1992年バルセロナ, 1996年アトランタ
大分県	日出町立川崎小学校	廣道純	車いす陸上	2000年シドニー, 2004年アテネ, 2008年北京, 2012年ロンドン
	日出町立川崎小学校	木谷隆行	ボッチャ	2008年北京, 2016年リオデジャネイロ
	日田市立大山小学校	木谷隆行	ボッチャ	2008年北京, 2016年リオデジャネイロ
	県立別府支援学校	木谷隆行	ボッチャ	2008年北京, 2016年リオデジャネイロ
	県立別府支援学校	木谷隆行	ボッチャ	2008年北京, 2016年リオデジャネイロ

表5 派遣講師アスリート

地域	学校・イベント名	取組内容
北海道	釧路市立朝陽小学校	アイスホッケー選手による実技体験および講演
栃木県	日光明峰高等学校	陸上選手による講演
千葉県	習志野市立香澄学校	陸上選手によるかけっこ教室
	市川市立真間小学校	ブルガリア新体操選手との交流
	市川市立平田小学校	ブルガリア新体操選手との交流
	浦安市立見明川小学校	アメリカラクロスチームによる実技体験
	野田市立清水台小学校	陸上元アジア記録保持者によるかけっこ教室
	印西市立平賀小学校	体操選手による体操教室
	香取市立新島小学校	フェンシング日本代表選手によるフェンシング体験教室
	一宮町立東浪見小学校	プロサーフィン選手によるサーフィン体験教室
		オーストラリアサーフィンチームとの交流
	一宮町立一宮小学校	陸上選手による実技指導
	いすみ市立太東小学校	サーフィン選手によるサーフィン体験教室
	館山市立豊房小学校	アメリカトライアスロンチームとの交流
	館山市立第二中学校	トライアスロン選手による講演
	鴨川市立西条小学校	サッカー元日本代表選手による実技体験
	市原市立湿津小学校	チアリーディング選手との交流
	船橋市立海神中学校	フェンシング選手による実技体験
	佐倉市立臼井南中学校	プロサッカー選手による講演
	旭市立第二中学校	プロバスケットボール選手による講演および実技体験
		体操選手による体操教室
	市原市立八幡中学校	プロラグビー選手による実技体験
	県立一宮商業高等学校	プロサーフィン選手によるサーフィン体験教室
	千葉黎明高等学校	バスケットボール元日本代表選手による講演
新潟市	新潟市立月潟小学校	外国人プロサッカー選手との交流
	新潟市立笹口小学校	外国人プロサッカー選手との交流
	新潟市立山潟小学校	外国人プロサッカー選手との交流
	新潟市立新津第一小学校	外国人プロサッカー選手との交流
	新潟市立大鷲小学校	外国人プロサッカー選手との交流
	新潟市立西川中学校	外国人プロサッカー選手との交流
大阪市	大阪市立此花中学校	テコンドー選手による実技体験および講演
岡山県	赤磐市立磐梨中学校	女子ホッケー選手による講演

また、北海道ではアイスホッケー、千葉県ではサーフィンやトライアスロン、岡山県ではホッケーなど、それぞれの地域で盛んなスポーツ選手が派遣されていた。地域別にみると、千葉県が22回、新潟市が6回、北海道・栃木県・岡山県・大阪市の1回、アスリートを派遣しており、山梨県・新潟県・石川県・兵庫県・高知県・大分県・千葉市・神戸市・岡山市ではアスリートの派遣がなかった。

表6のパラアスリート派遣内訳をみると、車いすバスケットボール選手が32回、車いすラグビー選手が11回、陸上競技選手が10回、ゴールボー

ル選手が5回、ボッチャ・シッティングバレーボール・クライミング・卓球選手が3回、車いすアーチェリー・車いすフェンシング・デフサッカー・スノーボード選手が2回、車いすテニス・ブラインドサッカー・水泳・アンプティサッカー選手が1回派遣されていた。延べ82回のパラアスリートの派遣のうち、48回と半数以上が車いす競技選手となった。また、デフサッカー選手やアンプティサッカー選手など、パラリンピックでは実施されない競技の選手も派遣されていた。地域別にみると、千葉県が18回、高知県が16回、岡山県

表6 派遣講師パラアスリート

地域	学校・イベント名	取組内容
北海道	幕別町立幕別小学校	車いすラグビー選手による実技体験および講演
	登別市立幌別中学校	デフサッカー選手による講演
栃木県	佐野市立葛生南小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	佐野市立吾妻小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	佐野市立常盤中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	佐野市立西中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	栃木市立大平南中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	那須塩原市立大山小学校	陸上選手による講演および実技体験
	那須塩原市立槻沢小学校	陸上選手による講演および実技体験
	県立高根沢高等学校	車いすバスケットボール選手による実技体験
千葉県	八千代市立高津小学校	アンプティサッカー選手による実技体験および講演
	市川市立平田小学校	デフサッカー選手による講演
	一宮町立東浪見小学校	シッティングバレーボール選手による講演および実技体験
	市原市立湊津小学校	陸上選手による講演および実技体験
	浦安市立見明川小学校	陸上選手による実技体験および講演
	柏市立酒井根小学校	車いすラグビー選手による実技体験および講演
	柏市立酒井根小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	流山市立小山小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験
	鎌ケ谷市立五本松小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験
	印西市立いには野小学校	陸上日本代表選手による義足体験および講演
	君津市立八重原小学校	車いすフェンシング日本代表候補選手との交流
	松戸市立第五中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	流山市立常盤松中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験
	我孫子市立久寺家中学校	車いすテニスによる実技体験および講演
	印西市立印旛中学校	車いすフェンシング選手による実技体験および講演
	県立八千代高等学校	シッティングバレーボール選手による実技体験
	県立桜が丘特別支援学校	ボッチャ選手による実技体験
	県立桜が丘特別支援学校	車いすラグビー選手との交流
千葉市	千葉市立寒川小学校	車いすラグビー選手による実技体験
	千葉市立稲毛中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	千葉市立高洲第一中学校	車いすラグビー選手による実技体験および講演
新潟県	三条市立西鱈田小学校	陸上日本代表選手による義足体験および講演
	上越市立国府小学校	陸上選手による義足体験および講演
新潟市	新潟市立岡方第二小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	新潟市立荻川小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	新潟市立荻川小学校	陸上選手による義足体験および講演
	新潟市立鏡淵小学校	車いすバスケットボール選手による講演
	新潟市立笹口小学校	車いすバスケットボール選手との交流
	新潟市立新津第一小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	新潟市立大鷲小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	新潟市立南浜小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	新潟市立西川中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
石川県	珠洲市立みさき小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	県立小松特別支援学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
山梨県	南アルプス市立若草小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	県立中央高等学校	車いすバスケットボール選手による講演
大阪市	大阪市立南百済小学校	車いすアーチェリー選手による講演
	大阪市立北恩加島小学校	陸上選手による講演
	大阪市立下福島中学校	シッティングバレーボール選手による実技体験
	大阪市立此花中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
兵庫県	福崎町立田原小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	県立社高等学校	スノーボード選手による講演
	県立村岡高等学校	スノーボード選手による講演
神戸市	神戸市立美賀多台小学校	ネパール水泳チームとの交流



岡山県	玉野市立宇野小学校	クライミング選手による講演
	高梁市立宇治小学校	卓球選手による実技体験および講演
	高梁市立成羽小学校	卓球選手による実技体験および講演
	倉敷市立連島北小学校	卓球選手による実技体験および講演
	倉敷市立連島中学校	ゴールボール選手による実技体験および講演
	美作市立作東中学校	ゴールボール選手による実技体験および講演
	美作市立作東中学校	アーチェリー選手による講演
	美作市立作東中学校	ゴールボール選手による実技体験および講演
	美作市立作東中学校	ゴールボール選手による実技体験および講演
	県立玉野光南高等学校	ブラインドサッカー選手による実技講習
高知県	香美市立片地小学校	クライミング選手による講演
	宿毛市立小筑紫小学校	車いすラグビー選手による実技体験および講演
	宿毛市立大島小学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	宿毛市立咸陽小学校	陸上選手による講演
	土佐市立宇佐小学校	車いすラグビー選手による実技体験および講演
	土佐市立新居小学校	ボッチャ選手による実技体験および講演
	宿毛市立小筑紫中学校	車いすラグビー選手による体験教室
	宿毛市立東中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	須崎市立朝ヶ丘中学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	あすチャレ！ School in KOCHI	ボッチャ選手による体験教室
		車いすラグビー選手による体験教室
		車いすラグビー選手による体験教室
		車いすバスケットボール選手による体験教室
		クライミング選手による講演
		ゴールボール体験教室
	ゆめチャレ！ School in KOCHI	車いすバスケットボール選手による体験教室
大分県	県立南石垣支援学校	車いすバスケットボール選手による実技体験および講演
	日田支援学校	車いすラグビー選手による実技体験および講演

が10回、新潟市が9回、栃木県が8回、大阪市が4回、兵庫県・千葉市が3回、北海道・新潟県・石川県・山梨県・大分県が2回、神戸市が1回、パラアスリートを派遣しており、岡山市では派遣がなかった。

表7のゲストティーチャーにおける講師の業種や取組内容を見ると、推進校の実践テーマや授業の目的に合わせ、オリンピック・パラリンピックに関する専門知識を伝えるために大学や専門学校の教員、競技団体の強化・運営・普及などに関わるスタッフ、地域の伝統芸能講師、他国の文化を学ぶための外国人留学生など多岐に渡る講師が派遣されていた。特にパラリンピック関係者・障がい者スポーツ関係者・盲導犬や手話などの障がい者をサポートする立場の方々など、障がいに関わる内容については延べ207回のうち、115回と半数以上となった。また、具体的な取組内容においては講演会だけでなく、実技や異文化交流も含めた体験型の取組が144回行われた。地域別にみる

と、千葉県が66回、高知県が46回、北海道が17回、山梨県が13回、新潟県・兵庫県が10回、石川県・千葉市が8回、岡山県が7回、栃木県・新潟市が6回、大分県・岡山市が4回、大阪市が2回、ゲストティーチャーを派遣しており、神戸市は派遣がなかった。

表8のゲストティーチャー内訳をみると、スポーツ関係団体が18.4%、競技団体が12.1%、社会福祉施設職員が11.1%、外国人講師が9.7%、自治体職員（福祉関係を含む）が9.2%、大学・専門学校教員が8.2%、障がい者が5.8%、公認指導員・伝統芸能講師が4.3%、小中高特支教員が3.9%、障がい者支援者が3.4%、高齢者が2.4%、大学生・院生が1.4%、中・高生・会社員が1.0%、その他が3.9%であった。

その他として振り分けた特徴的な8つの取組を紹介する。1つ目は地域の特産物である二十一世紀梨の栽培方法を学ぶことを目的として、地元在住の農業従事者を講師に梨の栽培体験が行われ



表7 派遣講師ゲストティーチャー

地域	学校名	取組内容	派遣者	業種
北海道	釧路市立朝陽小学校	釧路市社会福祉協議会職員を講師として、障がいに関する疑似体験やバラスポーツ体験を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員
	釧路市立朝陽小学校	日本の伝統文化を知る梅若研能会による体験教室を実施。	梅若研能会	伝統芸能講師
	島牧村立島牧小学校	北海道ポッチャ協会の方を講師としてポッチャの実技体験および講演を実施。	北海道ポッチャ協会会長	競技団体
	島牧村立島牧小学校	北海道ポッチャ協会の方を講師としてポッチャの実技体験および講演を実施。	北海道ポッチャ協会事務局長	競技団体
	八雲町立落部小学校	日本体育大学から講師を招聘し、第5・6学年児童を対象に「シットティングバレーボール教室」を実施。	日本体育大学研究員	大学・専門学校教員
	平取町立平取小学校	平取カーリング協会の方を講師として、ストーンの投げ方やスウィープの仕方などカーリングの実技体験を実施。	平取カーリング協会	競技団体
	名寄市立名寄小学校	名寄市社会福祉協議会職員の方を講師として、ゴールボール、シットティングバレー、ポッチャのバラスポーツ体験を実施。	名寄市社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員
	名寄市立名寄小学校	視覚障がいのある方々からの講話。	視覚障がい者	障がい者
	名寄市立名寄小学校	聴覚障がいのある方々からの講話。	聴覚障がい者	障がい者
	名寄市立名寄小学校	下肢障がいのある方々からの講話。	下肢障がい者	障がい者
	網走市立東小学校	北海道教育庁学校教育局健康・体育課主査を講師として、オリンピック・パラリンピック教育の実施方法について教員研修会を実施。	北海道教育庁	自治体職員
	登別市立梶原中学校	アテネパラリンピック金メダリストの全盲ランナーの伴走者を講師として講演会を実施。	視覚障がいアスリート伴走者	障がい者支援者
	登別市立梶原中学校	明治食育セミナーによる、異文化理解と運動と食事をテーマとした出前授業を実施。	株式会社明治社員	会社員
	利尻富士町立鷺泊中学校	北海道ポッチャ協会から講師を招聘し、保健体育科の授業において「ポッチャ体験」を実施。	北海道ポッチャ協会	競技団体
	北海道奥尻高等学校	ブラインドサッカーチームのナマール北海道監督を講師として、ブラインドサッカー体験を実施。	ブラインドサッカーチーム ナマール北海道監督	競技団体
	北海道中津津高等学校	日本体育大学特別研究員を講師としてオリンピック・パラリンピック教育研修会を実施。	日本体育大学研究員	大学・専門学校教員
	岩見沢高等養護学校	車いすフェンシング競技の国際審判員による講演および実技体験を実施。	車いすフェンシング審判員	競技団体
栃木県	栃木市立赤津小学校	地域の視覚障害者の方を講師として、介助犬や盲導犬、聴導犬等について、障害者との接し方について学習。	視覚障がい者	障がい者
	栃木市立東陽中学校	手話通訳の方を講師として手話講座を実施。	手話講師	障がい者支援者
	栃木市立東陽中学校	社会福祉協議会の方を講師として高齢者疑似体験を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員
	那須塩原市立東那須野中学校	日本スポーツ協会公認 スポーツ栄養士の方を講師として、スポーツ栄養学講話を実施。	スポーツ栄養士	公認指導員
	栃木県立日光明峰高等学校	日光市内外在住の外国人や海外生活経験者による講義と実習。	外国人講師	外国人講師
	栃木県立日光明峰高等学校	福祉施設の方を講師として高齢者との交流。	福祉施設職員	社会福祉施設職員
	習志野市立秋津小学校	プロバスケットボールチームの千葉ジェッツ船橋のコーチを講師として、実技指導。	千葉ジェッツ船橋コーチ	競技団体
	八千代市立高津小学校	千葉県ポッチャ協会の方を講師に招き、実技体験を実施。	千葉県ポッチャ協会	競技団体
	八千代市立高津小学校	八千代市に東京オリンピック出場を目指す選手がいる秀明大学女子水球部の選手を招き、実技体験を実施。	秀明大学水球部	大学・大学院生
	市川市立真間小学校	国際交流協会の方とパキスタン人講師による料理体験を実施。	国際交流協会・パキスタン人講師	外国人講師
	市川市立真間小学校	須和田の丘支援学校の先生や高等部3年生の生徒によるポッチャの実技体験を実施。	市川市立特別支援学校教員	小中高特教員
	市川市立平田小学校	筑波大学客員教授を講師として講演を実施。	筑波大学客員教授	大学・専門学校教員
	松戸市立大橋小学校	地元在住の農業従事者を講師として、梨栽培体験を実施。	農業従事者	その他
	野田市立清水台小学校	日本体育協会テニス上級コーチの方を講師として実技体験を実施。	日本テニス協会上級コーチ	競技団体
	流山市立小山小学校	流山市教育委員会スポーツ振興課の協力のもと、「第28回流山市ロードレース大会」にボランティアスタッフとして参加。	流山市教委委員会	自治体職員
	成田市立久住小学校	地元在住の外国人を講師として国際交流活動を実施。	外国人講師	外国人講師
	成田市立久住小学校	地域の方を講師として、学校周辺の水田地帯に伝わる伝統的な「牛馬作り」体験を実施。	牛馬つくり講師	伝統芸能講師
	成田市立久住小学校	地元在住の外部講師を招き、茶道体験を実施。	茶道講師	伝統芸能講師
	印西市立平賀小学校	順天堂大学スポーツ健康学部准教授を講師としてポッチャ講習および体験を実施。	順天堂大学スポーツ健康科学部准教授	大学・専門学校教員
	印西市立いはり野小学校	順天堂大学スポーツ健康学部准教授を講師としてポッチャ講習および体験を実施。	順天堂大学スポーツ健康科学部准教授	大学・専門学校教員
	香取市立小見川北小学校	「介護キャラバン隊」を招いて、高齢者疑似体験や車いす体験を実施。	株式会社介護キャラバン隊	障がい者支援者
	香取市立小見川北小学校	株式会社介護キャラバン隊を講師として障害者理解についての講演および車いす体験、高齢者疑似体験を実施。	株式会社介護キャラバン隊	障がい者支援者
	香取市立小見川北小学校	近隣の国際大学の学生を講師として中国・韓国・マレーシアについて学習した。	外国人留学生	外国人講師
	一宮町立一宮小学校	町の福祉健康課職員等を招き、視覚障害・肢体不自由・高齢者の疑似体験を実施。	一宮町福祉健康課職員	自治体職員
	一宮町立一宮小学校	長生特別支援学校の職員を講師に、ポッチャ体験を実施。	長生特別支援学校教員	小中高特教員
	長生村立一松小学校	日本財団パラリンピックサポートセンター主催による視覚障害者を講師として体験型授業を実施。	視覚障がい者	障がい者
	長生村立一松小学校	千葉県立特別支援学校の教諭3名を講師としてシットティングバレーボール体験を実施。	特別支援学校教員	小中高特教員
	木更津市立清見台小学校	順天堂大学スポーツ健康学部教員を講師としてゴールボールの体験を実施。	順天堂大学スポーツ健康科学部講師	大学・専門学校教員
	君津市立八重原小学校	福祉協議会や地域のボランティアの方々を招いて車椅子とアイマスクの体験を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員
	市原市立湊津小学校	国際武道大学の学生を講師としてカンボジアへのスポーツ支援活動経験をテーマとした講演を実施。	国際武道大学学生	大学・大学院生

千葉県	市原市立湊津小学校	市原市謡曲連合会の方々と講師として、日本の伝統芸能として伝わっている三味線、等、尺八を体験した。	市原市謡曲連合会	伝統芸能講師
	市原市立湊津小学校	ユニバーサルスポーツいちほクラブ代表の方を講師としてパラリンピック競技でもあるボッチャの職員研修を実施。	ユニバーサルスポーツいちほクラブ代表	スポーツ関係団体*
	船橋市立海神中学校	青年海外協力隊としてトンガに渡り、音楽療法や障害者スポーツの普及に努めた方を講師に招き、国際理解教育を実施。	青年海外協力隊員	その他
	松戸市立第五中学校	松戸市のオリンピック・パラリンピック推進課職員を講師として、ルーマニアとドミニカ共和国などホストタウンについての学習を実施。	松戸市オリンピック・パラリンピック課職員	自治体職員
	我孫子市立久寺中学校	グローバルプロジェクト（久寺家学習）の一つとして、日本の伝統的な文化について学習を実施。	伝統文化講師	伝統芸能講師
	佐倉市立臼井南中学校	パラリンピック種目の1つである「ゴールボール」の体験を順天堂大学准教授と5名の学生を招き、1学年生徒全員が体験学習を実施。	順天堂大学スポーツ健康科学部准教授	大学・専門学校教員
	成田市立久住中学校	総合的な学習の時間で地域の方々に講師として来ていただき、「佐原囃子」で使う各楽器の奏法や切り絵の制作について学び、伝承に関わることの大切さを体感した。文化祭で学習成果を発表した。	伝統芸能講師	伝統芸能講師
	印西市立印旛中学校	順天堂大学スポーツ健康科学部准教授を講師に招いて行ったオリンピック種目のバスケットボール体験学習を実施。	順天堂大学スポーツ健康科学部准教授	大学・専門学校教員
	印西市立印旛中学校	地元の箏曲、茶道教室の方を講師として、箏と茶道の体験学習を実施。	箏曲・茶道講師	伝統芸能講師
	旭市立第二中学校	セントラルスポーツ体操競技部コーチを講師として、床・鉄棒の模範演技と講話を実施。	セントラルスポーツ体操競技部コーチ	競技団体
	山武市立蓮沼中学校	東金特別支援学校の先生と蓮沼むらづくり協議会の方を講師としてボッチャ体験を実施。	東金特別支援学校教員	小中高特教員
	いすみ市立大原中学校	いすみ市内の自然や文化を学ぶために、まず市教育委員会より講師として「いすみ市景観学習」を実施。	いすみ市教育委員会職員	自治体職員
	館山市立第二中学校	館山市スポーツ課の宮澤課長を講師として、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた館山市の取組について学習。	館山市スポーツ課職員	自治体職員
	館山市立第二中学校	元JAL客室乗務員の筑波大学客員教授を講師として、講演を実施。	筑波大学客員教授	大学・専門学校教員
	君津市立周西南中学校	12月にブラインドマラソン日本代表のコーチを講師として講演会を実施。	ブラインドマラソン日本代表コーチ	競技団体
	富津市立富津中学校	順天堂大学スポーツ健康科学部より、准教授と学生を講師として、ゴールボール実技体験の授業を実施。	順天堂大学スポーツ健康科学部准教授	大学・専門学校教員
	袖ヶ浦市立蔵波中学校	認定NPO法人日本ブラインドマラソン協会理事を講師として講演会を実施。	ブラインドマラソン日本代表コーチ	競技団体
	市原市立八幡中学校	東海大学市原望洋高校ALTを招き、英語交流を実施。	東海大学市原望洋高等学校教員	小中高特教員
	市原市立八幡中学校	市原市福祉協議会を講師として、車いす体験、高齢者疑似体験、ボッチャ体験、視覚障がい者疑似体験、手話体験の5コースの福祉体験を実施。	市原市福祉協議会職員	社会福祉施設職員
	秀明八千代中学校	パラリンピックサポートセンターCEOを講師として講演会を実施。	日本財団パラリンピックサポートセンターCEO	スポーツ関係団体
	千葉県立千葉女子高等学校	台湾（台湾師範大学）から日本（千葉大学）に交換留学で来ている学生4名が、茶道、なぎなた、合唱などの交流を実施。	台湾人留学生	外国人講師
	千葉県立千葉女子高等学校	千葉明德短大と交流を行っているスペイン：アタウルフォ・アルヘンタ音楽院からの学生7名と引率の先生が千葉女子高校の音楽系の部活動と体験・交流を行った。	スペイン人留学生	外国人講師
	千葉県立千葉女子高等学校	タイ・マヒドン大学インターナショナルカレッジの学生20名の皆さんと華道の体験・交流を実施。	タイ人留学生	外国人講師
	千葉県立八千代高等学校	東洋大学法学部助教を講師として「オリンピック・パラリンピックレガシー」をテーマに講演会を実施。	東洋大学法学部助教	大学・専門学校教員
	千葉県立八千代高等学校	八千代市社会福祉協議会にご協力いただき、車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験を実施。	八千代市社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員
	千葉県立沼南高等学校	大学講師による異文化理解をテーマとした講演会を実施。	大学講師	大学・専門学校教員
	千葉県立流山南高等学校	江戸川学園おおたかの森専門学校に協力いただき、生活デザインの授業で車いす体験、補助体験を実施。	江戸川学園おおたかの森専門学校教員	大学・専門学校教員
	千葉県立流山南高等学校	NPO法人流山市国際交流協会の協力で、市内在住のオランダ人を講師として講演会を実施。	地域在住オランダ人	外国人講師
	千葉県立一宮商業高等学校	日本サーフィン連盟広報委員副委員長を講師として、競技ルールや見どころ紹介などについて講演会を実施。	日本サーフィン連盟広報委員副委員長	競技団体
	千葉県立一宮商業高等学校	留学生を招聘し、交流体験を実施。	外国人留学生	外国人講師
	昭和学院秀英高等学校	学生団体おりがみ代表であり、大学院でオリンピック・パラリンピックに関わる研究を行っている方を講師に迎え講演会を実施。	学生団体おりがみ代表	大学・大学院生
	秀明大学学校教師学部附属秀明八千代中学校・高等学校	パラリンピックサポートセンターCEOを講師として講演会を実施。	日本財団パラリンピックサポートセンターCEO	スポーツ関係団体
	秀明大学学校教師学部附属秀明八千代中学校・高等学校	パラリンピックサポートセンターCEOを講師として講演会を実施。	日本財団パラリンピックサポートセンターCEO	スポーツ関係団体
	日本体育大学柏高等学校	スタンフォード大学スポーツ医局アソシエイトディレクター・アスレチックトレーナーを講師として講演会を実施。	アスレチックトレーナー	公認指導員
	日本体育大学柏高等学校	本校部活動近代化委員で取り組んでいる部活動改革・生徒指導改革に大切なボトムアップ理論について講演会を実施。	実業家	その他
	千葉黎明高等学校	APU（アジア太平洋大学）のイスラエル人留学生と交流学習を実施。	イスラエル人留学生	外国人講師
	千葉県立桜が丘特別支援学校	市川ボッチャクラブの方を講師として、小学部と中学部の児童生徒が体験交流会を実施。	市原ボッチャクラブ	競技団体
	千葉県立桜が丘特別支援学校	JICAの外国人出前講座を利用して、ロシア人留学生と交流学習を実施。	ロシア人留学生	外国人講師
	千葉県立東金特別支援学校	元ANA客室乗務員を講師として講演会を実施。	接遇・マナー講師	その他
	千葉県立東金特別支援学校	JCV（世界の子どもたちにワクチンを日本委員会）を招き、ワクチンの必要性や貧困地域の現状について講演会を実施。	JCV（世界の子どもたちにワクチンを日本委員会）	その他
	千葉県立東金特別支援学校	小学部を対象に、フラダンス教室を開いている方を招き、体験学習を実施。	フラダンス教室講師	伝統芸能講師
	千葉県立東金特別支援学校	東金市内にある城西国際大学留学生10名と国際交流を実施。	外国人留学生	外国人講師
千葉市	千葉市立寒川小学校	社会福祉協議会の方を講師として高齢者疑似体験を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員
	千葉市立生涯小学校	千葉市障害者スポーツ協会の方を講師として車いすバスケットボール体験および講演会を実施。	千葉市障害者スポーツ協会	スポーツ関係団体
	千葉市立大森小学校	千葉市障害者スポーツ協会の方を講師として車いすバドミントン、車いす卓球体験および講演会を実施。	千葉市障害者スポーツ協会	スポーツ関係団体
	千葉市立葛張小学校	地域の千葉ゴールボールクラブの方との交流と体験会を実施。	千葉ゴールボールクラブ	スポーツ関係団体
	千葉市立高洲第二中学校	学校のそばの特別老人ホームのお年寄りの方々と、グランドゴルフや切り絵を通して交流を行い、地域との関わりについて学ぶ学習を実施。	地域在住高齢者	高齢者
	千葉市立高洲第二中学校	聴覚障害について調べ、耳が聞こえない状態の疑似体験をしたり、聴覚障害の方を講師として講演会を実施。	聴覚障がい者	障がい者
	千葉市立高洲第二中学校	千葉市国際交流協会からの派遣で、5か国（バングラディッシュ、韓国、イラン、中国、アメリカ合衆国）6名の方との交流。	外国人留学生	外国人講師
	千葉市立高洲第二中学校	千葉市の姉妹都市であるパラグアイ共和国（今年で50周年）の大使館の方やパラグアイの元サッカー選手など6名と交流。	パラグアイ共和国大使館職員	外国人講師

乳井勇二・他：オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて（その3）～講師派遣の実績を手掛かりとして～

新潟県	三条市立西鶴田小学校	義肢装具士を講師として講演会を実施。	義肢装具士	障がい者支援者
	三条市立西鶴田小学校	イラストレーターを講師として講演会を実施。	イラストレーター	その他
	小千谷市立東山小学校	スペシャルオリンピック新潟副支部長を講師としてポッチャ体験および講演会を実施。	スペシャルオリンピック新潟福祉部長	スポーツ関係団体
	小千谷市立東山小学校	こいこいスポーツクラブ クラブマネージャーを講師としてポッチャ体験および講演会を実施。	こいこいスポーツクラブマネージャー	スポーツ関係団体
	小千谷市立東山小学校	ひだまり工房上真皓氏を講師としてポッチャ体験および講演会を実施。	障害者支援センターひだまり工房	社会福祉施設職員
	上越市立国府小学校	市内の障がい者の方で結成されているポッチャチームの方を招いてポッチャの体験および交流を実施。	障がい者	障がい者
	新発田市立佐々木中学校	独立行政法人日本スポーツ振興センター 新国立競技場設置本部の方を講師として、オリンピック・パラリンピックについての学習を実施。	日本スポーツ振興センター職員	スポーツ関係団体
	新発田市立佐々木中学校	新潟医療福祉大学准教授を講師として、車いすバスケットボール、ポッチャ、ブラインドサッカーの体験を実施。	新潟医療福祉大学准教授	大学・専門学校教員
	新発田市立佐々木中学校	新発田県スポーツ振興課の方を講師として、車いすバスケットボール、ポッチャ、ブラインドサッカーの体験を行った。	新発田市スポーツ推進課	自治体職員
	長岡市立総合支援学校	見附市相模協会の方を講師として、小学部4～6年生を対象として相模教室を実施。	見附市相模協会	競技団体
新潟市	新潟市立荻川小学校	秋葉区福祉協議会の方を講師として、車いす体験やバリアフリーについての学習を実施。	秋葉区福祉協議会	社会福祉施設職員
	新潟市立荻川小学校	盲導犬ユーザーであるハーネスの会の方を講師として盲導犬についての学習を実施。	ハーネスの会	障がい者支援者
	新潟市立荻川小学校	秋葉区福祉協議会の方を講師として、高齢者や認知症方々とかかわり方についての学習を実施。	秋葉区福祉協議会	社会福祉施設職員
	新潟市立荻川小学校	地域在住の高齢者の方を講師として、遊びを通しての交流を実施。	地域在住高齢者	高齢者
	新潟市立鏡淵小学校	日本こども福祉専門学校の方を講師として、ポッチャ体験を実施。	日本こども福祉専門学校教員	大学・専門学校教員
	新潟市立山潟小学校	新潟市中央区社会福祉協議会の方を講師として、ポッチャ体験およびパラリンピックの歴史や競技種目についての学習を実施。	新潟市中央区社会福祉協議会	社会福祉施設職員
石川県	志賀町立志賀小学校	地域在住の高齢者の方を招いて、紙版画や木版画についての学習を実施。	地域在住高齢者	高齢者
	志賀町立志賀小学校	普段から校舎内のお花の世話をしてくださっている方を生け花の先生として「生け花教室」を実施。	生け花講師	伝統芸能講師
	志賀町立志賀小学校	志賀町の各地域に住んでいる高齢者の方にベタンの体験学習を実施。	地域在住高齢者	高齢者
	珠洲市立みさき小学校	珠洲市役所企画財政課奥能登国際芸術祭推進室の方を講師として講演会を実施。	珠洲市役所企画財政課奥能登国際芸術祭推進室	自治体職員
	石川県立鶴来高等学校	白山市社会福祉協議会と白山市障害福祉課の方を講師として、車いすバスケットボール体験、手話講座、盲導犬学習を実施。	白山市社会福祉協議会	社会福祉施設職員
	石川県立鶴来高等学校	白山市社会福祉協議会と白山市障害福祉課の方を講師として、車いすバスケットボール体験、手話講座、盲導犬学習を実施。	白山市障害福祉課	自治体職員
	石川県立小松特別支援学校	小松市カヌー協会の方を講師に迎えてのカヌー実技体験を実施。	小松市カヌー協会	競技団体
	石川県立小松特別支援学校	小松市役所職員の方を講師として、九谷焼タイル制作を実施。	小松市役所	自治体職員
山梨県	甲府市立池田小学校	山梨県ポッチャ連盟の方を講師に招いて、ポッチャ、ゴールボール、フライングディスク体験を実施。	山梨県ポッチャ連盟	競技団体
	甲府市立池田小学校	山梨県障害者スポーツ協会の方を講師に招いて、ポッチャ、ゴールボール、フライングディスク体験を実施。	山梨県障害者スポーツ協会	競技団体
	甲府市立池田小学校	山梨県立盲学校の先生を招き、白杖および点字体験、シッティングバレーボール体験を実施。	山梨県立盲学校教員	小中高特教員
	甲府市立池田小学校	山梨県ブラインドサッカークラブの方を講師に招いて、ブラインドサッカー体験を実施。	山梨県ブラインドサッカークラブスタッフ	競技団体
	甲府市立池田小学校	パラリンピックへの理解を深めることを目的として、地域の障害をもった方を招き、福祉講話を実施。	障がい者	障がい者
	南アルプス市立小笠原小学校	本校出身の櫛形中陸上部の生徒に陸上競技教室を実施。	櫛形中学校陸上部	中高生
	市川三郷町立六郷小学校	視覚障害、聴覚障害を持っている方を講師として障害者理解についての学習を実施。	視覚障がい者、聴覚障がい者	障がい者
	市川三郷町立六郷小学校	手話通訳者を招いての手話についての学習を実施。	手話通訳者	障がい者支援者
	早川町立早川北小学校	日本ラグビーフットボール協会の薫田真広氏を講師として、ラグビー体験および講演会を実施。	日本ラグビーフットボール協会	競技団体
	南部町立万沢小学校	山梨県障害者スポーツ協会の方を講師としてポッチャ体験を実施。	山梨県障害者スポーツ協会	競技団体
	道志町立道志小学校	パナソニック株式会社の方の指導のもと、撮影チームと演技チームに分かれて、応援ムービー制作を実施。	パナソニック株式会社	会社員
	南アルプス市立櫛形中学校	埼玉医科大学グループ女子駅伝監督による講演会及び陸上教室を実施。	埼玉医科大学グループ女子駅伝監督	競技団体
	山梨県立ろう学校	山梨県ライフル射撃協会の方を講師として、ビームライフル体験および講演会を実施。	山梨県ライフル射撃協会	競技団体
兵庫県	三木市立みなぎ台小学校	兵庫県立障害者スポーツ交流館の方を講師として、ポッチャ、フライングディスク体験教室を実施。	兵庫県立障害者スポーツ交流館	スポーツ関係団体
	西宮市立西宮浜小学校	社会福祉協議会の方を講師に招き、ポッチャ体験を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員
	丹波篠山市立岡野小学校	丹波篠山市の国際理解センターの方を講師として、ブラジルの遊びを体験。	丹波篠山市国際理解センター	自治体職員
	福岡町立田原小学校	兵庫県柔道連盟の方を招いて講演会を実施。	兵庫県柔道連盟	競技団体
	養父市立広谷小学校	ひょうご障がい者スポーツ競技会の方を講師として、ポッチャ体験を実施。	ひょうご障がい者スポーツ競技会	スポーツ関係団体
	養父市立広谷小学校	食育指導として栄養士を招いて、アスリートの体づくりに関する学習を実施。	栄養士	公認指導員
	洲本市立由良中学校	バレーボール元日本代表の方を招聘し、バレーボールの実技体験および講演会を実施。	大学講師	大学・専門学校教員
	小野市立河合中学校	小野小学校の教頭先生を講師として、ゴールボール体験およびオリンピック・パラリンピックの価値についての学習を実施。	小野小学校教頭	小中高特教員
	豊岡市立城崎中学校	豊岡市社会福祉協議会城崎支所の職員の方を講師とし、高齢者福祉についての講義と疑似体験の学習を実施。	豊岡市社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員
	豊岡市立城崎中学校	豊岡市スポーツ特別アドバイザーの公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参事を講師に招き、講演会を実施。	豊岡市スポーツ振興課	自治体職員
	高梁市立宇治小学校	岡山県教育委員会の方を講師として、ポッチャ体験を実施。	岡山県教育委員会	自治体職員
	高梁市立宇治小学校	社会福祉協議会の方を講師に迎えて、高齢者体験や車いす体験を実施。	社会福祉協議会職員	社会福祉施設職員



岡山県	高梁市立成羽小学校	特別支援学校の先生を講師にお迎えして「ポッチャ」の体験学習。	特別支援学校教員	小中高特教員
	美作市立勝田小学校	環太平洋大学の先生を講師として、シッティングバレーボール体験を実施。	環太平洋大学講師	大学・専門学校教員
	倉敷市立連島中学校	倉敷市の社会福祉協議会の協力を得て、車いす、ガイドヘルプ、点字、手話、ろうどく、高齢者疑似体験を実施。	倉敷市社会福祉協議会	社会福祉施設職員
	倉敷市立連島中学校	ゴールボール女子日本代表チームトレーナーを招聘し、ゴールボールについての講話と競技体験を実施。	ゴールボール日本代表トレーナー	公認指導員
	美作市立作東中学校	ガイドヘルパーを招聘し、ゴールボールについての講話と競技体験を実施。	ガイドヘルパー	公認指導員
岡山市	岡山市立福浜小学校	NPO法人岡山市志教育支援プロジェクト理事長を講師として、講演会を実施。	NPO法人岡山市志教育支援プロジェクト理事長	その他
	岡山市立福浜小学校	倉敷高校陸上部の生徒による、陸上教室を実施。	岡山県立倉敷高等学校陸上部	中高生
	岡山市立香和中学校	社会福祉法人旭川荘の職員と利用者を招いて、バラスポーツのポッチャ体験を実施。	社会福祉法人旭川荘職員	社会福祉施設職員
	岡山市立香和中学校	社会福祉法人岡山県視覚障害者協会理事、社会福祉法人岡山ライトハウス理事長、点字ブロックを守る会代表を務める竹内昌彦先生を招いて「見えないから見えたもの」を題材に講演会を実施。	社会福祉法人岡山県視覚障害者協会理事	社会福祉施設職員
高知県	香美市立香長小学校	高知県教育委員会事務局の方を講師として、ポッチャおよびゴールボール体験を実施。	高知県教育委員会・	自治体職員
	香美市立香長小学校	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師として、シッティングバレーボール体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国・	スポーツ関係団体
	香美市立香長小学校	高知県障害者スポーツセンターの方を講師として、車いす陸上体験を実施。	高知県障害者スポーツセンター	スポーツ関係団体
	香美市立片地小学校	社会福祉法人ワークセンター白ゆりの方を講師として、ポッチャ体験を実施。	社会福祉法人ワークセンター白ゆり	社会福祉施設職員
	宿毛市立沖の島小学校	幼児体育研究家の方を講師として、発達段階に応じたラグビーなどのスポーツ体験を実施。	幼児体育研究家	スポーツ関係団体
	宿毛市立沖の島小学校	高知県障害者スポーツセンターの方を講師として、ポッチャ体験を実施。	高知県立障害者スポーツセンター	スポーツ関係団体
	宿毛市立橋上小学校	高知県教育委員会保健体育課の方を招聘したオリパラ教育の意識向上及びポッチャの実技体験。	高知県教育委員会	自治体職員
	宿毛市立橋上小学校	早稲田大学留学生（中国・韓国人留学生）招いて、国際交流学習を実施。	外国人留学生	外国人講師
	宿毛市立山奈小学校	体育の時間に、社会体育推進員の方に来ていただき、ポッチャ体験を実施。	社会体育推進委員	自治体職員
	宿毛市立山奈小学校	地域在住の盲導犬と暮らす方を講師に、盲導犬と視覚障害についての学習を実施。	視覚障がい者	障がい者
	宿毛市立宿毛小学校	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師として、ゴールボールの体験学習。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
	宿毛市立宿毛小学校	地域在住のオランダ人を招いて、ホストタウンとなっているオランダの文化や言語についての学習を実施。	地域在住オランダ人	外国人講師
	宿毛市立宿毛小学校	高知県立障害者スポーツセンターの方を講師として、バラスポーツをテーマとした講演会を実施。	高知県立障害者スポーツセンター	スポーツ関係団体
	宿毛市立松田川小学校	地域で活躍しているインストラクターを招いて、ポッチャ体験を実施。	スポーツインストラクター	公認指導員
	宿毛市立松田川小学校	社会教育主事を講師として、障がい者スポーツ体験を実施。	社会体育指導員	公認指導員
	宿毛市立松田川小学校	社会福祉センターの方を講師として、車いす体験学習。	社会福祉センター	社会福祉施設職員
	宿毛市立松田川小学校	地域のスポーツ指導員の方を講師として、ポッチャ体験を実施。	社会教育主事	自治体職員
	宿毛市立大島小学校	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師として、ポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
	宿毛市立威陽小学校	元オランダプロ女性ロードバイク選手を招いて、講演会を実施。	地域在住オランダ人	外国人講師
	宿毛市立威陽小学校	高知市からスポーツインストラクターを講師として招聘し、縄跳び授業を実施。	スポーツインストラクター	公認指導員
	宿毛市立威陽小学校	地域で水泳教室をしている指導者の方を講師として招聘し、水泳教室を実施。	水泳教室指導員	スポーツ関係団体
	宿毛市立威陽小学校	地域で子どもたちに陸上を指導している方を講師として招聘し、走り方や跳び方についてなどの陸上教室を実施。	陸上教室指導員	スポーツ関係団体
	宿毛市立威陽小学校	元保護者で、地域で空手を指導している方を講師として招聘し、空手教室を実施。	空手教室指導員	スポーツ関係団体
	土佐市立宇佐小学校	土佐市でポッチャを指導している方を講師として、ポッチャ体験を実施。	ポッチャ指導員	スポーツ関係団体
	土佐市立宇佐小学校	障がい者スポーツセンター方（下肢障がい者）を講師として、講演会を実施。	高知県立障害者スポーツセンター（下肢障がい者）	スポーツ関係団体
	土佐市立新居小学校	全盲のシンガーソングライター堀内佳さん（高知市在住）を招いて、講演会およびコンサートを実施。	全盲シンガーソングライター	障がい者
	土佐市立新居小学校	盲導犬と生活している（高知県療育福祉センター）を招いて、盲導犬との生活や視覚障がいについての学習を実施。	高知県療育福祉センター（視覚障がい者）	社会福祉施設職員
	宿毛市立宿毛中学校	障がい者スポーツセンターの（下肢障がい者）方を講師として、講演会を実施。	高知県立障害者スポーツセンター（下肢障がい者）	スポーツ関係団体
	宿毛市立宿毛中学校	宿毛市内の高齢者施設や障害者施設の方から福祉体験学習を実施。	障害者施設職員	社会福祉施設職員
	宿毛市立片島中学校	地域の空手指導者を講師に招いて空手の実技体験学習を実施。	空手教室指導員	スポーツ関係団体
	宿毛市立片島中学校	オーストラリア出身のALTを招いて、その友人たちと生徒のノートを活用した交流活動の実施。	地域在住オーストラリア人	外国人講師
	宿毛市立片島中学校	包括センターの方を講師として高齢者疑似体験・車いす体験学習実施。	宿毛市包括支援センター	自治体職員
	宿毛市立橋上中学校	大洲青少年の家の職員を講師として、カヌー体験やビジュアルオリエンテーリングを実施。	大洲青少年の家	自治体職員
	宿毛市立橋上中学校	地域交流学習として地域在住の高齢者を講師に、草刈りなどの触れ合い学習を実施。	地域在住高齢者	高齢者
	須崎市立朝ヶ丘中学校	地域のポッチャ指導者を講師としてポッチャ体験を実施。	ポッチャ指導員	スポーツ関係団体
パラスポ体験教室		高知県立中村特別支援学校の生徒を対象に高知県立障害者スポーツセンターの方を講師として障害者スポーツ体験を実施。	高知県立障害者スポーツセンター	スポーツ関係団体
		高知市立小高坂小学校の児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		高知市立一ツ橋小学校児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてゴールボール体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		高知市立横浜中学校児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		宿毛市立大島小学校児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体

	パラスポーツ体験教室	宿毛市立宿毛小学校児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてゴールボール体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		高知県立高知国際中学校児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		中土佐町立上ノ加江小学校児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		芸西村立芸西小学校児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてシッティングバレーボール体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		香美市立楠目小学校児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてポッチャ体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
		須崎市立新荘小学校児童を対象に特定非営利活動法人まほろばクラブ南国の方を講師としてゴールボール体験を実施。	特定非営利活動法人まほろばクラブ南国	スポーツ関係団体
大分県	玖珠町立くす星翔中学校	ピラティスインスストラクターを講師として講演会を実施。	ピラティスインスストラクター	公認指導員
	日田市立南部中学校	五反田病院の院長であり、ラグビー日本代表の帯同ドクターを講師として、「目標と目的」についての講演を実施。	五反田病院院長（ラグビー日本代表帯同ドクター）	その他
	豊後高田市立高田中学校	大分県車いすバスケットボール連盟の選手の方を講師として、車いすバスケットボール体験および交流会を実施。	大分県車いすバスケットボール連盟	競技団体
	大分県立別府支援学校	3カ国（ベトナム、モンゴル、メキシコ）の留学生在自国のオリンピック・パラリンピック選手や文化をテーマとして交流会を実施。	外国人留学生	外国人講師
大阪市	大阪市立加美東小学校	地域在住の外国人を講師として言語や文化についての交流会を実施。	地域在住外国人	外国人講師
	大阪市立田島小学校	視覚障がい者を講師としてブラインドサッカー体験を実施。	視覚障がい者	障がい者

た。2つ目は国際感覚を養うことを目的として、青年海外協力隊としてトンガに渡り、音楽療法や障がい者スポーツの普及に努めた方を講師としてトンガの音楽体験および講演会が行われた。3つ目はおもてなしの気持ちを育てることを目的として、元客室乗務員の接客・マナー講師を招いて講演会が行われた。4つ目はボランティア精神を育てることを目的として、JCV（世界の子どもたちにワクチンを日本委員会）の方を招いて、ワクチンの必要性や貧困地域の現状についての講演会が行われた。5つ目は、共生社会に向けた心のバリアフリーへの理解を深めていくことを目的として、イラストレーターの方を講師に講演会が行われた。6つ目は志をもつ大切さを学ぶことを目的として、岡山市志教育支援プロジェクト理事長を招いて講演会が行われた。7つ目は生涯を通じてスポーツに親しむ意欲を育てることを目的として、ボトムアップ理論の提唱・実践者の方を講師に講演会が行われた。8つ目は思春期のスポーツ障害、食事について理解を深めることを目的として、ラグビー日本代表帯同ドクターを講師に講演会が行われた。このようにそれぞれのテーマに沿って、地域の人材を活用しながらさまざまな実践が行われ、広がりをみせている。

### Ⅲ. まとめ

本稿ではN-COPEに報告された事業実践を基に講師派遣の内容分析を行った。推進地域、推進校の拡大に伴い、オリンピックやパラリンピックに留まらず、それぞれの目的に沿ってさまざまな業種の方々が講師として派遣されていたことが確認できる。それぞれの講師派遣の内訳を確認すると、オリンピックよりもパラリンピック、アスリートよりもパラアスリートが派遣されていた。また、表7のゲストティーチャーでも示したが、障がいに関わる人が207回中115回であった。パラリンピック・パラアスリートを加えると延べ459回のうち279回となり、全体の60.8%で障がいに関わる講師が派遣されていた。N-COPEが支援している地域拠点では北海道・栃木県・千葉県・新潟県・岡山県・千葉市・新潟市でのセミナーやワークショップ<sup>5)</sup>の際に国際パラリンピック委員会（以下IPC）の公認教材であるI'mPOSSIBLE<sup>6)</sup>の活用方法、活用事例の紹介やパラスポーツ体験を取り入れるなどパラリンピック教育に関する内容を積極的に扱っていたことが確認できる。また、日本財団パラリンピックサポートセンターによると、アンケートにて「パラリンピックに関心を持

表8 ゲストティーチャー業種内訳

小中高 特支教員	大学・専門 学校教員	競技団体	外国人 講師	スポーツ 関係団体	公認 指導員	社会福祉 施設職員	自治体職員 （福祉関係 を含む）	伝統芸能 講師	障がい者	障がい者 支援者	高齢者	大学生・ 院生	中・高生	会社員	その他	合計
8 (3.9%)	17 (8.2%)	25 (12.1%)	20 (9.7%)	38 (18.4%)	9 (4.3%)	23 (11.1%)	19 (9.2%)	9 (4.3%)	12 (5.8%)	7 (3.4%)	5 (2.4%)	3 (1.4%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	8 (3.9%)	207

つようになったきっかけは？」という問いに対して、テレビやWEBなど、メディアでの報道に興味を持ったと答えた人が半数近くにのぼったと報告している<sup>7)</sup>。朝日新聞での連載<sup>8)</sup>やパラスポーツ選手をアニメ化し、2017年11月よりNHKにて放送されている「アニ×パラ～あなたのヒーローは誰ですか～」<sup>9)</sup>などパラリンピックに関する内容を取り扱うことが増えることでこれまで興味がなかった人たちの関心が高まっていることなどからも学校現場でパラリンピックや共生社会をテーマとした取り組みが増えてきたと考えることができる。さらに2016年から日本財団パラリンピックサポートセンターが行っているあすチャレ！School<sup>10)</sup>は2019年2月27日に47都道府県での実施を達成しており、全国的な広がりを見せている。

地域拠点ごとの取組においても特徴がみられる。新潟市では地元のクラブチームであるサッカーや車いすバスケットボールの選手、高知県では地元の車いすバスケットボール、車いすラグビーチームからそれぞれの選手が派遣されるなど、地元チームの選手が積極的に活用されていた。また、千葉市においては事業の参画当初からパラスポーツに関する教員研修を積極的に行い、ゴールボール、シッティングバレーボール、車いすバスケットボールを体育の授業に取り入れるなど、講師に頼らず教員がオリ・パラ教育の実践者として取り組んでいることで推進校数や実践数に比べると派遣されている講師が少ない例もみられた。

実践報告書からは「講師の日程調整」、「講演内容に関する打ち合わせ時間の確保」、「講師確保のための道府県・市町村の支援」など派遣講師に関する課題、「年間指導計画、教育課程への位置づけ」、「パラスポーツの用具購入希望」、「校内のバリアフリー環境の整備」、「学年（成長段階）に適した競技の設定」、「ICT環境の整備」などオリ・パラ教育を実践する上での学校現場の実状から得られた課題、さらには「地域行事とのタイアップ」、「教員研修の充実」、「I'mPOSSIBLEの活用方法」

などオリ・パラ教育の拡大や継続に関する課題などがあげられている。これらは乳井（2020）において挙げられた課題、岡田他（2018）におけるオリ・パラ教育を継続的に実施する上での困難と同様の内容であり、4年間行われているオリ・パラ事業の課題が改善されていないことを意味する。しかし、上記に記した千葉市の教員研修に加え、北海道・栃木県・新潟県・岡山県・高知県・新潟市においてもI'mPOSSIBLEを活用したパラスポーツの実技体験等の教員研修が実施されており<sup>4)</sup>、岡田（2020）が指摘する「教員の意識・理解の向上」を意図した教員研修の充実という提案に取り組んでいる事例も確認できる。このように教員の意識・理解の向上と負担軽減を目的とした、教員へのオリ・パラ教育研修会を積極的に実施していくことが有効であるといえる。

本稿ではオリ・パラ教育実践の特徴把握に向けて講師派遣の内容分析を乳井他（2019）、乳井他（2020）と同様の方法で行った。派遣される講師についてはオリンピック・パラリンピアンに限らず、さまざまな種目や業種の方々がそれぞれのテーマに沿って派遣され、実技体験や教員以外との学習活動により、オリ・パラ大会やスポーツへの興味関心の高まりも報告されている<sup>5)</sup>。しかし本稿はN-COPEが支援している15地域230校の実践を元に報告となるため、地域によって推進校数や校種、学校での実施回数もばらつきがある。また、オリ・パラ教育を継続的に実施する上での困難や課題が克服できていないことも明らかとなった。今後は全国で行われているオリ・パラ教育の実践データ<sup>11)</sup>やこれまで積み重ねてきた資料との比較を行いオリ・パラ教育の傾向を見いだしていくことや、実施に伴う課題の改善方法の考案について、今後の課題としたい。

## 注

- <sup>1)</sup> 東京都教育委員会（2016）「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針。



<https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/opedu/static/page/admin-school/pdf/20q1e202.pdf>

東京 2020 教育プログラムは東京 2020 参画プログラムの一部としても位置付けられる。この東京 2020 参画プログラムには、スポーツ・健康、街づくり、持続可能性、文化、教育、経済・テクノロジー、復興、オール・ジャパン・世界への発信の8つの分野が設けられている。

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 HP を参照。 <https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/certification/logo/>

パナソニック株式会社、オリンピックとパラリンピックを題材とした教育プログラム

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/child/education/program.html>

- 2) オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議(2016)オリンピック・パラリンピック教育推進に向けて最終報告。p. 4. [http://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/shingi/004\\_index/toushin/\\_\\_\\_icsFiles/afieldfile/2016/07/29/1375094\\_01.pdf](http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/004_index/toushin/___icsFiles/afieldfile/2016/07/29/1375094_01.pdf)

- 3) スポーツ庁(2016)オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業。  
[https://www.mext.go.jp/sports/b\\_menu/sports/mcatetop08/list/detail/1407880.htm](https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop08/list/detail/1407880.htm)

- 4) 東京 2020 大会の延期について発表されたのが 2020 年 3 月 24 日であり、それ以前の取組である為、大会本番前年予定とした内容で実施されていた。東京 2020 オリンピック・パラリンピック組織委員会公式ホームページ (2019) 安倍総理大臣、森会長、バッハ国際オリンピック委員会 (IOC) 会長との電話会談について。  
<https://tokyo2020.org/ja/news/news-20200324-01-ja-x9819>。(参照日 2021 年 3 月 31 日)

- 5) N-COPE (2020) 令和元年度年度スポーツ庁委託事業 オリンピック・パラリンピック・

ムーブメント全国展開事業報告書 <https://www.nittai.ac.jp/ncope/reports/index.html>

- 6) 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 (2017) I'm POSSIBLE.

- 7) 日本財団パラリンピックサポートセンター (2020) 読者調査から見えた「パラリンピックが盛り上がると日本の未来に何が起ころのか?」。

<https://www.parasapo.tokyo/topics/24052>。(参照日 2021 年 3 月 31 日)

- 8) 朝日新聞 (2020 年 9 月 9 日～10 月 1 日朝刊高知全県) 道を開く：あるパラリンピアンの中半世紀 1～21

- 9) 日本放送協会 (online) <https://www.nhk.or.jp/anime/anipara/>。(参照日 2021 年 3 月 31 日)

- 10) 日本財団パラリンピックサポートセンター、あすチャレ! School,  
<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>。(参照日 2021 年 3 月 31 日)

- 11) 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム (CORE), N-COPE, 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター (ROPE) による実践事例集が下記にて公開されている。CORE, N-COPE, ROPE (2019) 平成 30 年度スポーツ庁委託事業オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業実践事例集。

<http://core.taiiku.tsukuba.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/201900e899103b331ab8e1b-822cf6d70-1.pdf>

## 引用文献

岡田悠佑, 友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史, 根本想 (2018) 日本におけるオリンピック・パラリンピック教育の促進方法に関する研究：オリンピック・パラリンピック教育を実施した教員の視点に着目して, 体育学研究 63: 871-883, 2018

岡田悠佑 (2020) スポーツ研究入門 日本にお

けるオリンピック・パラリンピック教育の可能性と限界, 現代スポーツ評論=Contemporary sports critique (42), 137-143, 2020-05

岡田悠佑, 友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史 (2020) 教員の視点から見たオリンピック・パラリンピック教育の促進方法に関する研究: 実践内容と関連付けた効果及び課題の検討を通して, スポーツ教育学研究 40 (2), 31-55, 2020-12

信太奈美, 池田由美 (2018) 障がい者スポーツの関わり の程度に対する障がい者との交流及びスポーツの経験の影響—インターネット調査の結果から—, 日本保健科学学会誌 21 (3), 121-129, 2018

乳井勇二, 秋和真澄, 富田幸祐, 関根正美 (2019) オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて: 講師派遣の実績を手掛かりとして, オリンピックスポーツ文化研究 = Cultural re-

search of the Olympics (4), 149-155, 2019.

乳井勇二, 秋和真澄, 富田幸祐, 関根正美 (2020) オリンピック・パラリンピック教育実践の特徴把握に向けて (その2): 講師派遣の実績を手掛かりとして, オリンピックスポーツ文化研究 = Cultural research of the Olympics (5), 167-178, 2020-06.

友添秀則, 深見英一郎, 吉永武史, 岡田悠佑, 根本想, 竹村瑞穂, 小野雄大, 青木彩葉, 鈴木康介 (2018) 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターにおけるオリンピック・パラリンピック教育の取り組み: 小学校, 中学校, 高等学校及び特別支援学校におけるオリンピック・パラリンピック教育実践, スポーツ科学研究 (15), 1-16, 2018.

(受理日: 2021 年 3 月 29 日)